

平成27年2月9日(月)

少子化対策監室子ども政策課

課長 岡(内線:4180)

TEL 076-225-1446

いしかわ子ども交流センター

センター長 釜谷

TEL 076-243-6501

いしかわ子ども交流センタープラネタリウム百万星 新番組「中国の星座」のご案内について

いしかわ子ども交流センター プラネタリウム百万星では、2月1日(日)より一般向け新番組「中国の星座」を放映しています。

「星座」といえば、ギリシャ神話やローマ神話などと結びついた、ヨーロッパ起源のものがよく知られています。しかし中国にも同様に星座があることはあまり知られていません。中国の星座は、北極星を「天の皇帝」とし、その周りをめぐる星たちに官職や宮殿などを配置した国家体系をあらわすものとなっています。本番組では、この興味深い中国の星座にスポットをあて、中国の文化や風習とともにご紹介します。

本番組は3名の解説員が日替わりでお話ししますので、ライブ解説ならではの臨場感と各解説員の個性的な語りをお楽しみください。

○放映スケジュール

平日：15時～

土・日・祝：13時～、15時～

放映時間は、約45分間です。

○入場料

大人・高校生：400円

幼児(3歳以上)・小中学生：100円

幼児(3歳未満)：無料

○場所・お問い合わせ先

いしかわ子ども交流センター(金沢市法島町11-8)

電話：076-243-6501

※観覧のご案内(随時)

記事や番組制作の参考にしていただくため、報道関係の方は本番組を無料でご覧いただけます。上記放映スケジュールを参考に放映開始の10分前までにご来館いただき、センター受付にて観覧にお越しの旨お伝えください(事前の申込みは不要です)。

プラネタリウム一般番組 「中国の星座」

(2月～3月投映)

<番組の概要>

現在一般的に用いられている星座は、もともと古代バビロニア・メソポタミア地方などを発祥とし、その後ヨーロッパで神話と関連付けられて発達したものがほとんどです。

しかし、星空に様々な事物を想像したのは西洋ばかりではありません。アジア、とりわけ中国では紀元前から天文学が発達し、実に多くの星座が独自に作り出され、高度に体系化されていました。

中国の星座の歴史は大変に長く、その起源は約 3000 年前といわれています。私たちになじみの深いヨーロッパ起源の星座は、ギリシャ・ローマ神話、身近な人物・動物や道具をなぞっているのに対し、中国の星座はひとつの国家体系を形成しています。

夜空の日周運動の中心である北極星は「天帝」の座とされ、そのすぐそばをめぐる星たちには宮殿の庭園や官庁、役人といった、高貴な事物をあてはめました。そして、北極星から離れるに従い、庶民の住宅や市場、さらにはトイレ（厠）や排泄物（屎）など、次第に身分の低いものを星座としてあてはめました。このように、古代中国の社会身分制度からなる国家体系を反映して形作られた中国の星座は、そのひとつひとつがとても小さく、全体の数が非常に多いのが特徴です。3 世紀には、実に 300 以上の星座が空にひしめいていたといわれています。

(中国の星座の一例)



番組の前半は、今の季節に見えている星や星座をご紹介します。後半は、番組のテーマである「中国の星座」についてじっくりご紹介いたします。今夜見られる星空などリアルタイムな情報を交えて、解説員が 45 分間ライブでお話しします。

3 名の解説員が日替わりで担当しますので、各解説員により内容が日々変化していく、ライブ解説ならではの魅力をお楽しみください。

<投映スケジュール（平成 27 年 2 月～3 月）>

平日：15 時～

土・日・祝：13 時～、15 時～

※閉館日：毎週月曜日（祝日の場合は火曜日）

